

李 行簡 展 — 新しい中国画への誘い —

故植野藤次郎氏が創設した当美術館には、氏が蒐集した1980年代を中心とした改革開放の時代を背景に描かれた330点余りの中国絵画が所蔵されています。それらはいずれも中国近代画壇の代表的な齊白石(1864~1957)や李可染(1907~1989)、傅抱石(1904~1965)などに直接師事した作家の作品を中心としており、李行簡もその一人です。

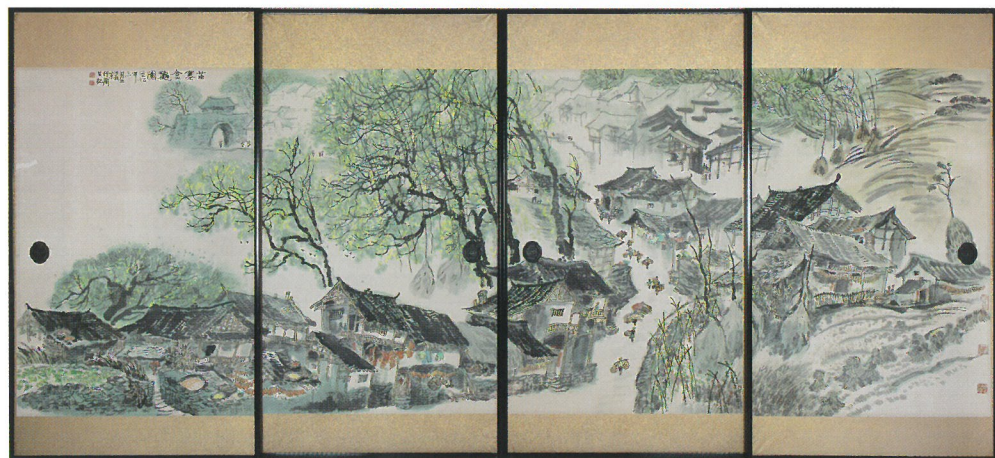
李行簡は、1937年湖北省に生まれ、1958年中央美術学院中国画科に入学し、李可染に師事して水墨・山水画を専攻しました。1963年に卒業後も母校に留まり、

写生を中心に創作を行いました。江南地域の風物や貴州省、四川省などの苗族を中心とした少数民族の民俗を丹念に取材し写生を重ね、それを「詩意」と濃密な筆致で表現しています。現在は北米に在住し、創作活動を続けています。

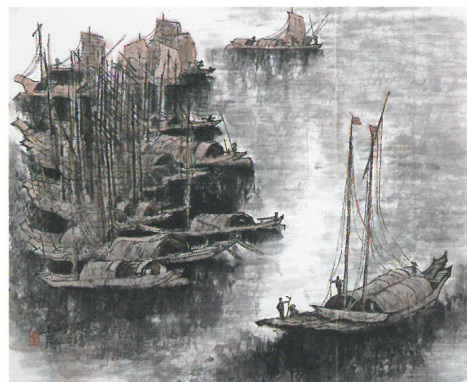
本展では、当館所蔵の1980年前後制作の作品に併せて、1990年代から2000年代にかけて日本への何度かの歴訪時に姫路市に滞在して制作した作品が所蔵されている李行簡美術館より屏風、衝立、襖を含む約50点の作品を借用・展示し、氏が旺盛に制作をおこなっていた時期の作品を中心にその画業を紹介します。



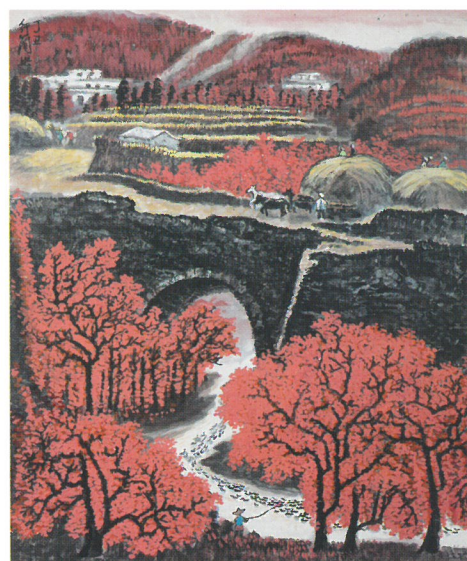
「大江東去図」1979年 当館蔵



「苗寨金秋図」1999年 李行簡美術館蔵



「桅櫓林立」1990年 李行簡美術館蔵



「盛秋図」1997年 李行簡美術館蔵

関連行事

※各イベントは状況により予告無く中止する場合がございます。

●開幕記念講演会

日時：1月16日(土) 開場12時30分/開演13時30分
会場：植野記念美術館 2階研修室
講師：陳允隆

(墨彩画家・関西学院大学講師・日本中華文芸芸術家連合会会長)

定員：50名(要予約)
申込：電話予約(Tel.0795-82-5945)
参加費：無料(別途観覧料が必要)

●伍芳バレンタインコンサート(中国古箏コンサート)

日時：2月14日(日) 開場12時30分/開演13時30分
会場：植野記念美術館 2階エントランスホール
出演：伍芳(中国古箏演奏家)

定員：50名(要予約)
申込：電話予約
参加費：無料(別途観覧料が必要)

●ミュージアムシアター(映画会)

会場：植野記念美術館 2階研修室
〈第一回〉上映作品「レッドクリフPart I」
日時：2月21日(日)

【午前の部】10時30分~13時00分
【午後の部】14時00分~16時30分

〈第二回〉上映作品「レッドクリフPart II-未来への最終決戦-」

日時：2月28日(日)
【午前の部】10時30分~13時00分
【午後の部】14時00分~16時30分

定員：各回50名(要予約)
申込：各回電話予約
参加費：無料(別途観覧料が必要)
※各回30分前開場

●赤ちゃんからの美術鑑賞ツアー

日時：【一回目】2月3日(水)
10時00分~11時00分
【二回目】3月4日(木)
10時00分~11時00分

会場：植野記念美術館
2階研修室及び3・4階展示室
対象：0~6才の未就学児とその保護者
定員：各回5組(要予約)

申込：電話予約
参加費：無料(別途観覧料が必要)
※各回9時45分より受付開始

●UEBIファミリーDay&トークフリーDay

日時：1月24日(日)/2月7日(日)/
2月21日(日)/3月14日(日)

どなたでも展示室内で気兼ねなく会話を楽しみながら鑑賞ができる日です。また、小学生以下のお子様には「UEBI シールラリー」セットをプレゼントします。

〈期間中行事〉

●第2回 丹波アートコンペティション入賞作品展

日時：3月9日(火)~3月14日(日)
10時00分~17時00分

会場：植野記念美術館 2階研修室
観覧料：当該展のみ無料



新型コロナウイルス対策へのご協力をお願い

- ・必ずマスクの着用をお願い致します。
- ・手指のアルコール消毒にご協力下さい。
- ・来館受付簿へ連絡先等を記入の上、受付へお越し下さい。
- ・観覧券の事前販売は行っておりません。

丹波市立 植野記念美術館

〒669-3603
丹波市水上町西中615-4
TEL 0795-82-5945

